

福井県脳外傷友の会
(福井県高次脳機能障害者と家族の会)

ふくわらい
福笑井

第 22 号

2019年10月13日発行

福井県脳外傷友の会

「福(笑)井」事務局

第 12 回総会が開催されました

平成 31 年 4 月

会長 村下 恵美子

平成 19 年 12 月に始まった福笑井も早や 12 年目に入りました。年号も平成から令和に代わりました。どんな時代になるのか希望と期待がふくらみますが、自然界をみても、温暖化による夏の暑さや台風などの災害の多さ、大地震の予想など、楽観はできないことも多いですが、良い時代であってほしいですね。

今年は総会に先立ち、苔玉作りをしました。講師の人たちの手ほどきを受けながら、自分で植物の根っこを丸めて水苔や苔を飾り、それを糸で絞りました。悪戦苦闘しながら苔玉完成です。さあ、この苔玉も家で水やりをしながら育てなければなりません。どうかずっと変わりなく育ちますように。きつとうちの夫は水のやりすぎで根腐れをおこすかなーなんてひそかに思っています。

そして総会も例年のように 30 年度の行事と決算報告、本年度の行事予定と予算案の了承を頂きました。来賓として、福井県障害福祉課の土屋秀樹様や山本弁護士様からも温かいお言葉を頂きました。いつものことながら、福笑井をご支援下さることに感謝致します。

交流会では会員で自己紹介をして近況を語ってもらいました。他人の話聞くことで自分たちの生活のヒントになることも多くありますよね。

さて、今年度が始まりましたが、新たな行事も組み込みながら会員同士が深い絆でつながれる様、皆で協力していきたいと思っております。私は一つ行事が終わると、次の楽しみを考えながら毎日を過ごしています。そして寝る時に今日の楽しかったこと、嬉しかったことを 10 個くらいあるかなーと数えている間に寝てしまいます。気がついたらまた朝・・・。



6月30日 舞鶴へ行ってきました！！

ほのぼの屋 当事者・家族交流会研修会

A.A

6月の最終日30日梅雨模様の中、家族交流会研修会に行ってきました。目的地は舞鶴市にある本格的フレンチレストランがあるほのぼの屋です。ほのぼの屋は接客や厨房調理等の作業を通して障害者の方々の生きがいを生み出す場所となっています。

道中プチ旅行気分を楽しみながら舞鶴市に着いたところ、梅雨空は消え、真夏の太陽が照り付け、汗をふきふき坂道を歩きほのぼの屋に到着しました。お店の外観は自然に囲まれ静かで落ち着きがあり、中に入ると、舞鶴湾が目の前に広がる素晴らしい眺めのガラス張りのウッドデッキがありました。

午前中のスケジュールは研修会と当事者・家族交流会でした。研修会は「高次脳機能障害とは」の演題で、福井総合クリニック作業療法士の杉本志保理先生に講演をして頂きました。イラスト付きで分かりやすく、高次脳機能障害とうまく付き合い、お互いを尊重して、助け合って生活していくことが大切だなと改めて感じました。

研修会の後、中丹高次脳機能障害と家族の会「さくら」の方々と、家族の紹介、自己紹介を行い、今回の交流会・研修会のお楽しみ「ランチ」の時間となりました。コースランチは、スープ、お肉とお魚から選べるメイン料理、デザートもついていて、本格的フレンチを大変おいしく頂きました。



午後からは家族同士のグループワークで、5～6名のグループに分かれて、それぞれの悩みと心の持ち方について話し合いました。皆さん一人一人が大変な経験をされて現在があり、今もなお悩みを抱えておられる方もいらっしゃいましたが、きっとこれからの時間が解決してくれると信じています。

湯浅さんが畑で作った野菜販売もあり皆さんに買っていただきました。湯浅さんありがとうございました。

午後2時に閉会となり、舞鶴の皆さんと一緒に舞鶴引揚記念館を見学した後帰路につきました。

今回初めて県外の交流会に参加して、皆さんと楽しく意義のある時間を共有することが出来てとても良かったです。また機会があれば参加したいと思いました。



ほのぼの屋 家族交流会 感想

はじめての交流会でいろいろ話が聞けてよかった。

勉強になりました。
ありがとうございました。

他県の高次脳機能障害グループとの交流が自分達、又、相手方にとって、とても充実した内容となるのが解る企画でした。
また違った地域のグループとの交流があることを期待したくなりました。
大型バスを今回利用しての移動で、身体的にも精神的にも会員さん達は非常にリラックスした一日を過ごすことが出来たように思います。会員相互のコミュニケーション作りにも効果がありました。しかし車イス利用者が利用（参加）できないという問題は今後の課題であることがわかりました。（行政、市町福祉バスの利用など）

県外の患者会の方々との交流は、自分達と違う条件での活動を知れて良かったです。
また、長年ボランティアとしてサポートしている方のお話は客観的で参考になりました。あと、県民性が違うなと感じました。

とっても良かったです
（ちょっと疲れたけど）
ほかの県の交流会もいいですね
またやってもいいですね

皆さん、いろんな事をかかえながらも少しずつ積み重ねながら頑張っておられる様子を知る事ができ、とてもはげみになりました。
また、なかなか遠出するのが難しいので、妹も大変喜んでおり感謝しています。
お世話になりありがとうございました。

交流会と旅行を重ねた事業で、楽しく参加させていただきました。
ありがとうございます。

初めての家族交流研修会でとても楽しみにしていました。
色々な家族の方のご苦勞話を伺うことが出来ました。つらい気持ちを共有出来ると少しは余裕をもって生活出来るのではないかと思います。ほのぼの屋の食事はとても美味しく頂きました。近くにあったら最高なのに…

8 月例会（8 月 25 日 福井市防災センター見学&交流会）

K.0

今年 8 月例会は『福井市防災センターの見学、ユトリ珈琲交流会』でした。防災センターの見学では職員の方の案内で、地震関係の DVD 視聴、体験ホールにて福井地震と同じ震度 7 の揺れの体験（室内、屋外）と強風体験を実際に体感してきました。地震の揺れは突き上げるような縦横の揺れに机にしがみついて驚き、ブロック塀が倒れてきて再度驚きました。台風並みの 20M/h の強風では、隣の話声がかき消されて聞き取れないほどでした。ほとんどの参加者の方が体験され災害を身近に感じることができたように思います。

消火器の使い方シミュレーションもやりたかったのですが時間の都合で出来なくて少し残念でした。その後揺れた感覚が抜けてないようなまま、近くのユトリ珈琲に移動して皆さん思い思いのメニューをオーダーして、美味しい飲み物とともに楽しく会話も弾む交流会で有意義な例会となりました。交流会では、防災のアンケートも書いてもらい、アンケートを基に今後の福笑井例会の参考にしていきたいと思いました。

【見学・体験後の感想】 参加者 27 名中（複数回答あり）

参考になったこと・・・①地震や台風体験ホール 21 人②係員の説明 15 人③ビデオ 13 人

④ロビーの展示物や写真など 8 人

災害が起きた時の心配事・・・食料や飲料水などの非常時の備蓄をしなければ！

避難場所がわからない！

家に一人でいるので、どうしていいかわからない！



震度 7 かなりの揺れです

足を踏ん張らないと、立ってられない！

ユトリ珈琲にて交流会 ♪♪♪

8月31日 福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会が開催されました

R. Y

福井県高次脳機能障害リハビリテーション講習会が8月31日に福井医療大学において開催されました。約150名の方が参加され大盛況でした。今年は4人の方が講演されました。

最初は医療者の立場から、福井県高次脳機能障害支援センター 作業療法士、支援コーディネーターの中島裕也さんが「県内の高次脳機能障害支援の現状と今後」というテーマでお話されました。

続いて、大橋裕子さんでした。大橋さんのお嬢さんは高校生だった16歳の時に交通事故で意識不明になられ、数カ所の骨折と高次脳機能障害のリハビリを家族と共に大変な努力で乗り越え復学されました。高校卒業後は進学し大学4年生の現在、就職も内定して 母娘ともに晴れやかなお顔をしておられました。

3人目は、村下恵美子さんでした。村下さんは当事者の夫を支えながら会社経営もなさり、この家族会の代表も務めていらっしゃいます。村下さんのご主人も交通事故で高次脳機能障害になられ仕事ができなくなり別人のようになってしまったそうです。幼い孫とも喧嘩したりして、とても困る時があるそうです。しかしながら私も村下さんご夫婦とお会いして10年程になりますが、ご主人は何時もどんな人にも平等に接する事が出来て、さすが社長さんだなあとと思います。障害を負っても、人に対する気配り目配りの気持ちを忘れていないのだと思います。

最後はGOMAさんでした。GOMAさんは、学生時代にオーストラリアの伝統管楽器であるディジュリドゥに出会い日本でも数少ないディジュリドゥ奏者になられました。日本でバンド活動をおこなっていた10年前に首都高速道路で交通事故にあい、高次脳機能障害になられました。失った意識が戻った時、自分を画家だと思っていたそうです。絵筆を動かすGOMAさんに当時4歳だった娘さんが「パパの仕事はそれじゃないよ」と告げます。その言葉に導かれるようにディジュリドゥ奏者として再起を果たされました。GOMAさんは「誰かが困難に直面した時、自分の体験が少しでも光になれば」との思いから、全国各地で演奏活動を行っておられます。実物のGOMAさんは、以外と小柄で妖精みたいに儂げな雰囲気、あの演奏と絵から感じるパワーはどこから出てくるのだろうと不思議に感じるくらいでした。事故に遭って、仕事も お金も 家も 取り巻きも 無くしてしまいました。けれど、心を開いて付き合いしてきた数人の友人と家族だけが、満身創痍の自分に寄り添ってくれた。その人たちに恩返しをしたいと思い頑張ってきた。事故に遭う前の自分を追いかけていた時は苦しかったけど、今は やっと自分の居場所を見つけられたと感じている。2度目の人生を生きていると意識し始めた頃から、少しずつ未来も変わりはじめたそうです。私の夫も、九死に一生を得て命を取り留めました。障害を負ってから約12年、日々さまざまな悩みを抱えながら暮らしております。この講習会を通じて皆さんの経験をお聴きして、これからも頑張ってお生きていく勇気をいただけたような気がします。ありがとうございました。

素敵な苔玉・・・元気に育っていますね♡



❀ 会員募集中！！❀

「福笑井」は、高次脳機能障害者および家族が、生き生きとした生活ができるよう、福利と親睦を図り、社会に対して働きかけ、高次脳機能障害について理解を広めることを目的として作られた会です。

皆様の入会、応援、ご協力をお待ちしています。

年会費 正会員家族：3600 円 賛助会員：2000 円

(できるだけ4月総会時にご入金ください。)